

「全鍍連」 2025年 9月号 若者から一言

東京都鍍金工業組合

東雲会 会長 神谷 昌孝（神谷電化工業(株) 代表取締役社長）

「百の頂に百の喜びあり」



東雲会（東京都鍍金工業組合青年部会）会長をしております、神谷昌孝です。

ついに私にも出番が回ってきてしまいました。

毎回、皆様の文章を楽しみに拝読させて頂いておりました。

皆様にならって、私も趣味の話をしたいと思います。

私の趣味は登山です。4年程前から始めました。

コロナの中、外に出たくて、高尾山に登ったのがきっかけでした。

山に登るとなぜか気分がスッキリするのです。今は山梨百名山、全てに登ろうと目標を掲げ、現在93座の山を登ったところです。あと少しです。

さて、山の世界には、登山界の神様と呼ばれる人がいるのはご存知でしょうか？

自身が登った、たくさんの山の中から、日本百名山（山の格付けのようなもの）を選定した、小説家・登山家の^{ふかだ}深田^{きゅうや}久弥さんです。

山梨百名山には「^{なやがだけ}茅ヶ岳」という山があるのですが、その登山口には、深田記念公園があります。深田久弥さんは、人生最後の瞬間も登山をしていました。

この「茅ヶ岳」登山の休憩中に、眠るように亡くなったそうです。

深田記念公園の記念碑にはこんな言葉が刻まれています。

「百の頂に百の喜びあり」

私はこの記念碑を見たときに、その場に立ちすくんで、ぼ～つとしてしまいました。

山登りは、よく人生に例えられます。

「あなたの人生（山）は、無名で低い、大したことのない人生（山）かもしれないけど、一步一步諦めずに登ってごらん。あなたという人生（山）にしか味わえない、素晴らしい景色・達成感がある。来てよかったと思えるはずだよ」

と、言ってもらっているような気がしました。涙があふれてきました。

山登りは、登っている間、瞑想をしているような状態になります。

過去や未来の心配ではなく、今この瞬間、足場・ルート・風の音やにおい、等に集中することになります。大自然のエネルギーをたくさん浴び、気分がスッキリするのもそのためではないかと思います。

一步一步積み重ねるだけで、自分でもびっくりするような遠い所へ来ることが出来る。

達成感があり、自分の自信にもなります。

「大変かもしれないけど、いつかは山頂に着くんだ」という思いがあると、とりあえずやってみようという気になり、仕事の面でも、とても役に立っています。

また、登山は下山するまで、しっかりと歩かなくてはなりません。

山頂に着いても、ヘリで救助されているようではいけません。

人生最後の日まで仕事ができる・誰かの役に立てる人間であれたらいいな。と思います。

人生最後の日まで、しっかりと歩き続けられる様に、これからも一日一日を、一生懸命に生きていきたいと思います。

最後に、今回記事を書く機会をいただき・皆様とふれあえる機会をいただいた、全鍍連の皆様には感謝したいと思います。

有難うございました。



山梨百名山四天王の一座・「策ヶ岳(ざるがだけ)」山頂・早朝の風景

この日・この山に入っていたのは私一人だけ・贅沢な瞬間です。

コースタイム 18 時間・テントで一泊二日の山行でした。